

平成25年度
事業報告

平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで

公益社団法人 全国有料老人ホーム協会

事業概況

平成 25 年 4 月 1 日から公益社団法人としてスタートし、1 事業年度が終了しました。

本年度は協会が掲げた中期ビジョンの初年度にあたり、その行動方針に基づいて以下の事業に取り組みました。

1. 組織基盤安定化事業

組織率を向上し、公益社団法人としての基盤固めをするため、入会促進に取り組みました。

理事各位の協力のもと、全国 40 社の事業法人を訪問し、協会の目的や役割を説明して入会を促し、当初目標通り 30 社の新規法人に加入いただきました。

また、地方自治体との連携を強化するため、全国 56 箇所の都道府県、政令指定都市、中核市を訪問し、情報交換、地方自治体のニーズの把握、協会加入への協力依頼を行いました。

2. 会員ホームの事業の質の向上にかかわる事業

(1) 定例確認業務において、主に平成 24 年度老人福祉法改正の適切な反映状況を確認しました。

平成 25 年度は重要事項説明書や入居契約書の確認のみならず、適切な表示について研修会も実施し、フォローアップを行いました。

(2) 会員ホームのハード、ソフトの両面で客観的な評価を得る目的で、サービス第三者評価を継続実施しました。

平成 25 年度は評価スケールを一部見直した上で、79 ホームが受審しました。

(3) 協会独自のカリキュラムにより、有料老人ホームの職員向けの各種研修を実施しました。

また、協会ホームページに施設長基礎研修の全修了者所属ホーム名を掲出し、消費者へ情報提供を行いました。本年度末の累計全修了者数は 106 名となりました。

3. 入居者生活保証制度の制度改正

有料老人ホームが多種・多様化する中で、現行制度を抜本的に改めるべく、運営委員会を中心に制度改正案の策定に取り組みました。

一定の成案を得たことと、継続課題については平成 26 年度に取り組むこととし、可能な限り速やかに、新たな制度で運営することを目指します。

4. 消費者向け事業

ホーム数が急増し、協会に寄せられる苦情相談件数も増加している中、法律に定められた協会の重要な役割である苦情の処理解決機能を高めるため、「苦情対応基本方針」を定めました。

この基本方針に基づいて、入居者や家族等から寄せられる苦情に対する取り組みを、これまで以上に充実させていきます。

また、例年通り、日常の入居相談業務、入居希望者向けセミナーや基礎講座の開催、輝・友の会の運営等、有料老人ホームへの入居を検討されている消費者に対して、必要な情報提供にも努めました。

以下、実施事業の詳細を述べます。

I. 法人の概況

1. 設立年月日

昭和 57 年 2 月 8 日

2. 定款に定める目的

本協会は、日本全国における有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の入居者の保護と提供サービスの質の向上を図り、各種高齢者住まい事業を含む事業の健全な発展に努め、もって高齢者の福祉の増進に資することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

本協会は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行なう。

- (1) 入居者生活保証制度等、入居者の保護に関する事業
- (2) 事業の健全な発展及び質的向上等に関する事業
- (3) その他、本協会の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

内閣府
厚生労働省老健局

5. 会員等の状況 ※詳細は附属明細書参照

(1) 正会員・開設前会員・準会員数（平成 26 年 3 月 31 日現在）

期首	入会	退会	期末	増減
299	30	13	316	17

【会員区分の期末内訳】 正 会 員 : 310
開設前会員 : 4
準 会 員 : 2

(2) 登録ホーム数

期首	新規登録	抹消	期末	増減
683	70	6	747	64

※新規登録ホーム数は、事業承継等で運営法人が変更になったものは含まない。

(3) 賛同会員数

期首	新規登録	退会	期末	増減
21	4	1	24	3

6. 主たる事務所の状況

事務所所在地：東京都中央区八重洲二丁目 10 番 12 号 国際興業第二ビル 3 階

7. 役員等に関する事項（平成 26 年 3 月 31 日現在）

役 職	氏 名	勤務状況	所 属（役職等）
理 事 長	福 山 宣 幸	非常勤	麻生メディカルサービス株式会社 代表取締役
副理事長	前 川 寛	〃	慶応義塾大学 名誉教授
〃	市 原 俊 男	〃	株式会社サン・ラポール南房総 代表取締役
理 事	新 井 泉 太 朗	〃	弁護士
〃	加 藤 伸 一	〃	一般財団法人長寿会 理事長
〃	金 澤 有 知	〃	株式会社ハーフ・センチュリー・モア 代表取締役
〃	河 村 康 正	〃	ファインフォレスト株式会社 代表取締役
〃	木 村 人 士	〃	株式会社シルバーハイツ札幌 代表取締役
〃	齊 藤 紘 二	〃	有料老人ホーム 入居者
〃	白 澤 政 和	〃	桜美林大学大学院 教授
〃	高 橋 紘 士	〃	国際医療福祉大学大学院 教授
〃	竹 田 智 恵 子	〃	有料老人ホーム 入居者
〃	灰 藤 誠	常 勤	公益社団法人全国有料老人ホーム協会 事務局長
〃	樋 口 朋 幸	非常勤	ベルジ株式会社 代表取締役
〃	平 野 裕 之	〃	慶應義塾大学 法科大学院 教授
〃	森 本 博 子	〃	株式会社愛仁苑 代表取締役
〃	安 元 恭 子	〃	主婦連合会 常任幹事
〃	山 本 敏 博	〃	社会福祉法人聖隷福祉事業団 理事長
〃	吉 田 良 子	〃	独立行政法人国民生活センター 元理事
監 事	塩 原 修 蔵	〃	公認会計士
〃	渡 辺 八 郎	〃	有料老人ホーム入居者

※顧問 中 島 弘 和

8. 職員に関する事項（平成 26 年 3 月 31 日現在）

	職員数	前期比増減	平均年齢	平均勤続年数
男 子	5	0	52.6	6.6
女 子	4	△2	36.3	8.8
合 計	9	△2	45.3	7.6

9. 許認可等

平成 25 年 4 月 1 日付で公益社団法人へ移行。

Ⅱ. 事業の状況

1. 組織基盤安定化事業

(1) 入会促進

全国の非加入事業者へDMを発送し、反応があった法人 40 社を訪問。

また、地方自治体との連携を強化するため、56 箇所の都道府県、政令指定都市、中核市を訪問し、協会入会活動への協力を要請した。

〈訪問した自治体〉

地域	都道府県	政令指定都市・中核市	地域	都道府県	政令指定都市・中核市
北海道 東北	北海道	札幌市・旭川市	近畿 中国 四国	大阪府	大阪市・東大阪市・堺市
	青森県	青森市		和歌山県	和歌山市
	岩手県	盛岡市			岡山市
	宮城県	仙台市		山口県	下関市
	山形県			広島県	広島市・福山市
	福島県	郡山市		徳島県	
関東	茨城県		九州	香川県	高松市
	栃木県			愛媛県	松山市
	埼玉県	さいたま市		福岡県	福岡市・北九州市・久留米市
	神奈川県	横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市		熊本県	熊本市
北陸 甲信越 東海	山梨県			佐賀県	
	愛知県	名古屋市		長崎県	長崎市
	長野県			宮崎県	宮崎市
	岐阜県			沖縄県	那覇市

施策として、入会コストを減額するため、会費等規則を改正して入会金を 5 万円に減額した。

当初目標数 新規法人加入 30 社 → 実績 30 社

新規登録ホーム数 40 ホーム → 実績 70 ホーム

(2) 会費減額検討

平成 26 年度以降の入会促進を目的として、会費の減額案について理事会の承認を得た。

平成 26 年度定時総会に会費等規則の改正を上程するため、全国説明会を実施した。

〈平成 26 年度定時総会に上程する会費減額案〉

室数	現状会費(基本会費+室数加算)	新会費(基本会費+室数加算)	減額
1~30 室	207,000 円	120,000 円	▲87,000 円
31~40 室	229,000 円	142,000 円	
41~50 室	331,000 円	244,000 円	

<説明会開催状況>

大阪会場 2月25日(火)	出席数 37社 46名	会場：大阪科学技術センター
福岡会場 2月27日(木)	出席数 11社 15名	会場：TKP博多駅前シティセンター
東京会場 2月28日(金)	出席数 78社 100名	会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター
札幌会場 3月12日(水)	出席数 10社 13名	会場：TKP札幌カンファレンスセンター

説明会では、会費減額案の説明のほか、改正消費税法への対応や、診療報酬改定、介護保険制度見直しの動向についても説明した。

2. 会員ホームの質の向上にかかわる事業

(1) 定例提出確認

会員から毎年提出される入居契約書・重要事項説明書等の内容を、法改正等の観点から確認した。結果について各ホームに連絡し、訂正を求めるとともに、一部現地訪問も行った。

また、昨年までの定例確認での指摘事項について、未修正または修正報告がない会員に対して、協会会議室においてフォローアップ研修を実施した。

定例確認委員会：委員 10名

開催日：第1回委員会(H25.07.30)

第2回委員会(H26.03.14)

<フォローアップ研修>

開催日	場所	内容	参加者数
第1回 8月30日	協会 会議室	① 定例確認チェックポイントと契約書の留意点 協会顧問 中島弘和	第1回 19名
第2回 9月4日		② 重要事項説明書に不備が多い事項について 協会参与 千田忠彦	第2回 21名
		③ 前払金の算定根拠の考え方	
		④ 協会の一時金試算プログラム利用のデモンストレーション 協会事務局長 灰藤 誠	

(2) サービス第三者評価

今年度は79ホームが受審した(義務受審59ホーム、任意受審20ホーム)。

評価スケールについて、住宅型ホームのケアマネジメントを重視した改訂を実施した。

また、サービス付き高齢者向け住宅については、現行スケールを転用することとした。

(3) 職員研修事業

職員研修委員会の下、有料老人ホーム職員を対象とした職種別の研修を以下のとおり実施した。各研修とも対前年比で受講者数が増加した。

また、生活相談員研修を初めて大阪で実施した。

施設長基礎研修の全修了証発行者数は延べ 106 名となった。

職員研修委員会：委員 6名

開催日 第1回委員会 (H25. 04. 16)

第2回委員会 (H25. 05. 31)

第3回委員会 (H25. 10. 2)

第4回委員会 (H26. 02. 26)

以下、実施研修の詳細を述べます。(講師役職名は開催当時のもの)

①有料老人ホーム基礎研修

■研修目的

高齢者の住まいの一つである有料老人ホームとは何か、また、そこで提供される生活支援・介護等のさまざまなサービスのあり方と、高齢者の特性についての理解を深めることにより、有料老人ホーム職員としての基本的な知識を習得し、サービスの質の向上に役立てることを目的として実施。

■受講対象者

有料老人ホームの勤務経験が概ね3年～5年の職員

■カリキュラム

第1講「有料老人ホーム総論」 講師：松岡 昭任 氏（全国有料老人ホーム協会 参与）
第2講「高齢者の特性の理解」 講師：長田 久雄 氏（桜美林大学大学院 老年学研究科 教授）
第3講「有料老人ホームにおけるサービスのあり方」 講師：池田 敬緯子 氏〔札幌会場，東京会場〕 （株式会社創世 聖ハートフルケア福島「十字の園」 取締役 園長） 河村 康正 氏〔大阪会場〕 （ファインフォレスト株式会社 代表取締役） 福山 宣幸 氏〔福岡会場〕 （麻生メディカルサービス株式会社 代表取締役）

■受講者数

会場	実施日	会場	受講者数
東京	9月10日（火）	国際ファッションセンター	64名 ※非加盟 1
大阪	9月25日（水）	クロス・ウェーブ梅田	42名 ※非加盟 2
札幌	10月22日（火）	メルキュールホテル札幌	44名 ※非加盟 6
福岡	10月31日（木）	TKPガーデンシティ博多	27名 ※非加盟 16

②チームリーダー研修

■研修目的

介護現場でチームリーダー的役割を担っている人を対象とし、リーダーに求められる役割や心構えを身につけ、現場での問題解決能力を育成する目的で実施。

ケースメソッド方式による、グループ討議中心の実践的研修。

■受講対象者

現場でチームリーダー的役割を担っている職員

■カリキュラム

「講義～オリエンテーション」
「具体的事例に基づいたグループ・ディスカッション」
講義「リーダーの役割～役割を果たすための考え方～」

講師・ファシリテーター 田島 誠一 氏〔日本社会事業大学専門職大学院 教授〕

■受講者数

会場	実施日	会場	受講者数
東京	11月06日(水)	ベルサール芝公園	43名 ※非加盟 0
大阪	11月20日(水)	大阪科学技術センター	43名 ※非加盟 6

③生活相談員研修

■研修目的

生活相談員を対象とし、主に、有料老人ホームで遭遇しやすい事例を通して、相談員として入居者や家族と向き合う視点、問題の解決方法、援助方針を学ぶ研修。

■受講対象者

有料老人ホームの生活相談員

■カリキュラム

第1講「有料老人ホーム関係法令・ガイドライン」 講師：中島 弘和 氏（全国有料老人ホーム協会 顧問）
第2講「生活相談員の位置づけ・役割について」 講師：加藤 伸一 氏（一般財団法人 長寿会 理事長）
第3講「対人援助技術」 講師：北村 世都 氏（日本大学文理学部心理学科 助教 臨床心理士）
第4講「グループ・ディスカッション」（ケースメソッド方式） ファシリテーター：北村 世都 氏（日本大学文理学部心理学科 助教 臨床心理士）

■受講者数

会場	実施日	会場	受講者数
東京	12月02日(月)～03日(火)	ベルサール芝公園	68名 ※非加盟 1
大阪	1月20日(月)～21日(火)	大阪科学技術センター	32名 ※非加盟 1

④施設長基礎研修

■研修目的

本研修は、施設長、及び施設長候補者を受講対象とし、施設長が業務を行う上で求められる、様々なスキルについて習得することを目的とする。

この研修は、Ⅰ～Ⅲの3つの研修で構成されており、毎年、内2つを実施。本年度はⅠとⅡを実施した。

Ⅰ～Ⅲすべての講義を受講した者に全修了証を交付。本年度末の全修了者の累計は106名となった。消費者への情報開示として、全修了者が所属するホーム名を、協会ホームページで公表している。

■カリキュラム

施設長基礎研修Ⅰ

第1講「有料老人ホーム事業の全体像と施設長の役割」 【講師】福山 宣幸 氏（麻生メディカルサービス株式会社 代表取締役）
第2講「有料老人ホームの現在」 【講師】山口 義敬 氏（厚生労働省 老健局 高齢者支援課 高齢者居住福祉専門官）
第3講「高齢者の特性の理解」 【講師】長田 久雄 氏（桜美林大学大学院 老年学研究科 教授）
第4講「関係法令ガイドライン①」 【講師】中島 弘和 氏（全国有料老人ホーム協会 顧問）
第5講「重要事項説明書の留意点」 【講師】千田 忠彦 氏（全国有料老人ホーム協会 参与）
第6講「コミュニケーションスキルと接遇・マナー」 【講師】池田 敬緯子 氏（株式会社創世 聖ハートフルケア福島「十字の園」 取締役園長）
第7講「苦情への取り組み」 【講師】河原 善之 氏（一般財団法人日本老人福祉財団 湯河原ゆうゆうの里 副施設長）
第8項「グループディスカッション」 【ファシリテーター】加藤 伸一 氏（一般財団法人長寿会 理事長）
第9講「ホーム選択のプロセスと入居者が重視するポイント」 【講師】市原 俊男 氏（株式会社サン・ラポール南房総 代表取締役）
第10項「関係法令ガイドライン②」 【講師】平野 裕之 氏（慶応義塾大学 法科大学院 教授）
第11講「有料老人ホームの営業」 【講師】長嶺 堅二郎 氏（CS ネット企画 代表）
第12講「入居契約・利用契約関連」 【講師】中島 弘和 氏（全国有料老人ホーム協会 顧問）

施設長基礎研修Ⅱ

第1講「職員意識の理解・組織づくり」 【講師】加藤 伸一 氏（一般財団法人長寿会 理事長）
第2講「労務管理の基礎」 【講師】綱川 晃弘 氏（有限会社HRM-LINKS 綱川労務管理センター 代表取締役）
第3講「ストレスマネジメント」 【講師】大塚 博巳 氏（アイエムエフ株式会社 代表取締役） 種市 康太郎 氏（桜美林大学 心理・教育学系准教授）
第4講「社会保障制度」 【講師】白澤 政和 氏（桜美林大学大学院 教授）
第5講「業務改善」 【講師】福山 宣幸 氏（麻生メディカルサービス株式会社 代表取締役）
第6講「人材確保と育成」 【講師】田島 誠一 氏（日本社会事業大学専門職大学院 教授）
第7講「業務の標準化」 【講師】奥谷 直澄 氏（株式会社太平洋シルバーサービス 取締役、シルバーシティ武蔵野 園長）
第8講「グループディスカッション～業務の標準化」 【ファシリテーター】川口 豊 氏（セコムフォート多摩株式会社 顧問）

■受講者数

研修	実施日	会場	受講者数
I	11月12日（火）～14日（木）	晴海グランドホテル	71名 ※非加盟 3
II	2月12日（水）～14日（金）	晴海グランドホテル	75名 ※非加盟 6

（4）協会通信

会員事業者に、毎月1回、国の制度や重要な事業関連情報等、最新情報を掲載した「協会通信」を発行。

発行日	主な内容
No. 254 (4月発行)	<ul style="list-style-type: none"> 「介護保険指定事業における行政の改善指導」について 「有料老人ホーム設置運営標準指導指針改正」について 「平成24年度介護従事者処遇状況等調査結果の概要」について
No. 255 (5月発行)	<ul style="list-style-type: none"> 「消防法施行令等の改正」について 「医療機関との協力内容」について 「介護保険制度改正の動き」について①
No. 256 (6月発行)	<ul style="list-style-type: none"> 「有料老人ホームを対象とした指導状況等のフォローアップ調査（第4回）」結果について 「社会保障国民会議での議論」について 「介護保険制度改正の動き」について②

No. 257 (7月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「消費税法改正」について ・ 「介護保険制度改正の動き」について③ ・ 「水防法及び河川法の改正施行」について
No. 258 (8月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「介護予防給付廃止反対の要望書提出」について ・ 「社会保障制度改革国民会議報告書」について ・ 「平成 25 年版高齢社会白書」について
No. 259 (9月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「社会保障審議会の動き」について ・ 「都市部の高齢化対策に関する検討会報告」について ・ 「インターネット広告に対する東京都調査」について
No. 260 (10月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「医療保険制度改正の動き」について① ・ 「介護保険制度改正の動き」について④
No. 261 (11月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「患者紹介ビジネスへの規制」等について ・ 「介護保険制度改正の方向性」について⑤ ・ 「医療保険制度改正の方向性」について②
No. 262 (12月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「消費税改正に伴う介護報酬改正の方向性」について ・ 「社会保証制度改革プログラム法成立」について ・ 「有料老人ホーム事業を取り巻く環境変化」について
No. 263 (1月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「消費税の取り扱い」について ・ 「介護報酬改定」について
No. 264 (2月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「有料老人ホーム等における診療報酬の適正化」について ・ 「2014 年度診療報酬改定」について ・ 「老人ホーム入居権の買え買え詐欺」について
No. 265 (3月発行)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「診療報酬改定」について ・ 「消費税改正対応の介護報酬改定等」について

(5) 経営コンサルティング

希望のあった4社を対象に実施。入居募集や組織効率化が主眼。

(6) 入居者募集支援

輝・友の会会員や、入居希望者セミナー等の来場者で、ホームからの資料提供を希望する消費者の名簿を利用することにより、会員ホームの入居者募集を支援した。

また、会員ホームがDMを実施する際は、媒体物の表示内容が景品表示法等の法令に対して適切な内容になっているか、事前に確認する支援をした。

平成 25 年度の利用件数は延べ 52 件。

(7) 地域連絡協議会の活動支援

全国に会員法人で構成する8つの地域連絡協議会があり、連絡協議会ごとに研修、消費者向けセミナー、合同音楽発表会等、様々な活動をしている。

協会は、活動費の補助、講演会の講師派遣、イベントの後援等、活動支援を行った。

東日本、西日本において毎年実施されている事例発表研修会においては、後援、理事長挨拶に加え、講評者として協会顧問、参与も参加。また、研修終了後の要旨集を作成し、全会員へ配布した。

[連絡協議会：北海道連絡協議会、東北連絡協議会、茨城連絡協議会、埼玉県連絡協議会、千葉県連絡協議会、東京都連絡協議会、近畿連絡協議会、九州連絡協議会]

3. 入居者生活保証制度の安定化事業

(1) 資産運用委員会

平成25年度の入居者生活保証制度、一般会計資金について安定的、効率的な運用方針を決定し、理事会に付議した。

また、資産運用において、より安全性を重視する観点から、「資産運用管理規程」の改正案を理事会へ上程し、承認を得た。

資産運用委員会：委員 5名

開催日 第1回委員会 (H25.05.07)

第2回委員会 (H25.07.24)

第3回委員会 (H25.08.02)

(2) 入居者生活保証制度加入審査委員会

入居者生活保証制度加入審査委員会を開催し、新規加入法人に対する与信審査を実施した。

入居者生活保証制度加入審査委員会：委員 6名

開催日 第1回委員会 (H25.04.17) [以下、経営状況審査等もすべて含む審査件数 7件]

第2回委員会 (H25.05.15) [審査件数 8件]

第3回委員会 (H25.06.18) [審査件数 9件]

第4回委員会 (H25.08.21) [審査件数 6件]

第5回委員会 (H25.10.15) [審査件数 2件]

第6回委員会 (H25.12.12) [審査件数 10件]

第7回委員会 (H26.02.12) [審査件数 6件]

第8回委員会 (H26.03.11) [審査件数 6件]

<本年度入居者生活保証制度加入状況>

新規加入法人数	12（事業承継等で、審査未実施のものは除く）
新規登録ホーム数	39（事業承継等で、審査未実施のものは除く）
登録抹消ホーム数	7
新規加入者数	4,793
平成25年度末の登録ホーム数	674
平成25年度末の加入者数	33,863
平成25年度末の加入者延人数	61,114

(3) 制度改正

低額な前払金への対応、実損額と予定賠償額との乖離、拠出金の見直し等、現行制度の諸課題について、入居者生活保証制度運営委員会で検討し、制度改正案を策定した。

入居者生活保証制度運営委員会：委員 8名

第1回委員会（H25.07.24）

第2回委員会（H25.09.09）

第3回委員会（H25.10.08）

第4回委員会（H25.11.26）

第5回委員会（H25.12.18）

第6回委員会（H26.01.20）

第7回委員会（H26.03.06）

(4) 加入後の与信管理

289社の会員から財務諸表を収集し、協会内でデータを入力し経営分析を行い、経営実態調査を実施した。

財務諸表については、従来の貸借対照表、損益計算書の他、勘定科目内訳表等を求めることや、会社業績によっては親会社の決算書の提出を依頼することにより、経営情報収集の強化を図った。

(5) 長期安定運営のための施策

将来協会が負担する正味保証債務額び保証事業にかかる費用として準備すべき額を見積計上していたが、当該引当金の重要性に鑑み、当年度から引当額の算定方法を精緻化及び高度化することとし、引当金として繰入を行った。

4. 消費者・入居者対応事業

(1) 入居相談業務（一般消費者及び輝・友の会会員の入居相談室利用状況）

入居相談室を中心に、日々の相談に対応。入居に関する一般的な相談から、契約に関すること等、電話、文書、面談で対応。

相談者が必要とする資料の提供や、協会登録ホームのパンフレットを常備し、友の会会員や来会者に交付した。

	相談	資料請求等	計
来訪件数	190	528	718
電話・文書	963	493	1,456
計	1,153	1,021	2,174

(2) 苦情処理委員会（常設委員会）

本年度は4回の委員会を開催し、寄せられた苦情等(入居者からの相談243件、事業者からの相談7件、意見5件)について審議した。また、この委員会の下、「有料老人ホームなんでも相談—有料老人ホーム110番—」を2回実施し、寄せられた相談115件について委員会で審議した。

苦情処理委員会：委員 9名

第1回委員会(H25.06.21)

第2回委員会(H25.09.19)

第3回委員会(H25.12.18)

第4回委員会(H26.03.19)

〈「有料老人ホームなんでも相談—有料老人ホーム110番—」実施結果〉

	第1回	第2回
日時・場所／電話相談	H25.10.23～10.25	H26.3.4～3.6
相談員	延べ 13名	延べ 14名
弁護士相談	1件	なし

〈なんでも相談の相談件数〉

	計	受付方法別			相談内容	
		電話	F A X	面談	入居相談	苦情
第1回	140	137	2	1	70	70
第2回	99	95	4	0	54	45
計	239	232	6	1	124	115

(3) 広報委員会（常設委員会）

有料老人ホームの効果的な広報活動について、検討・討議し展開した。

また、ワーキング委員会を設置し、協会の広報戦略を策定した。

出版社から、「シルバー川柳」作品集を出版することの申し入れを受け、委員会で応諾することを決定し、理事会へ報告した。

広報委員会：委員 8名

開催日：第1回委員会(H25.06.11)

第2回委員会(H25.07.12)

ワーキング委員会：委員 4名

開催日：第1回委員会(H25.07.02)

第2回委員会(H25.08.22)

(4) 入居希望者向け説明会の開催

「有料老人ホーム協会セミナー」は、昭和58年以降、毎年全国各地で開催している。

消費者の入居検討に役立てていただけるよう、講演会、シンポジウムの他、以下の内容を実施。

(会場によって、実施内容は異なる)

- ・出展ホーム職員による「個別ホーム相談」
- ・総合的、一般的な相談・質問を受け付ける「総合相談」
- ・参加ホームの資料を配置する「パンフレットコーナー」
- ・ホーム入居者による「入居者相談」
- ・看護師による「健康相談」

平成25年度は、全国4か所（5回）で開催し、延べ2,929名の参加申し込みを得た。

日時・会場	主なプログラム	後援	申込者数	
秋季	H25. 9. 18 (札幌) 札幌市社会福祉 総合センター	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会 「高齢期の住み替えの留意点～ 有料老人ホームなんでも相談の事例より～」 講師：協会理事長 福山宣幸氏 ・相談会 	厚生労働省 北海道 札幌市 函館市 岩見沢市 北海道新聞社	220
	H25. 9. 26 (東京) 東京国際 フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム 「本当に安心できる高齢者の住まいとは」 ・介護予防のご紹介「骨盤底筋を鍛える体操」 ・相談会 	厚生労働省 東京都 神奈川県 千葉県 埼玉県 群馬県 茨城県	868
	H25. 10. 09 (大阪) ハービスホール	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会「高齢期の住み替えの留意点」 講師：協会理事長 福山宣幸氏 ・相談会 	厚生労働省 大阪府 京都府 兵庫県 奈良県 滋賀県	633

	H25. 10. 15 (福岡) アクロス福岡	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演 1 「家庭でできる介護予防トレーニング」 講師：日本福祉大学社会福祉学部 准教授 荒深裕規氏 ・ 講演 2 「多様化の著しい有料老人ホームのしくみと選び方」 講師：協会理事長 福山宣幸氏 ・ 相談会 	厚生労働省 福岡県 福岡市 北九州市飯塚市 筑紫野市 中間市 太宰府市 福津市 志免町 西日本新聞社	348
春季	H26. 3. 7 (東京) 東京国際 フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンポジウム 「有料老人ホームだからこそ提供できるサービス」 ・ 介護予防のご紹介「転倒予防について」 ・ 相談会 	厚生労働省 東京都 神奈川県 千葉県 埼玉県 群馬県 茨城県	860

(5) 基礎講座の開催

一般消費者に、有料老人ホームの仕組みや特色などの基礎的な知識や、ホームを選ぶ際のチェックポイントなどを説明し、質疑応答を含めて有料老人ホームについて理解を深め、ホームの選択に活用していただくことを目的として、全国で基礎講座（ミニセミナー）を開催している。

平成 25 年度は以下の 3 ヲ所（6 回）で開催し、延べ 278 名の参加申し込みを得た。

日時	会場	プログラム	申込者数
H25. 07. 18 H25. 08. 01 H26. 02. 21	(東京) 協会会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演 I 「有料老人ホームの基礎知識と その選び方」 講師：協会参与 蓼沼めぐみ 	110
H25. 12. 06	(札幌) 道特会館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演 II 「重要事項説明書から読取るもの」 講師：協会参与 千田忠彦 	83
H26. 01. 28	(大阪) ATC エイジレスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑応答、個別相談 	51
H25. 07. 25	(東京) 協会会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演「入居契約のチェックポイント」 講師：協会顧問 中島弘和 ・ 質疑応答、個別相談 	34

(6) 「輝・友の会」の運営と「輝・ニュース」の発行

有料老人ホーム等の入居検討者向け会員制度で、会員には情報誌「輝・ニュース」を年 4 回送付、協会主催セミナーなどの案内、希望する協会登録ホームのパンフレットを送付する他、協会登録ホームで利用できる体験入居割引券を進呈。

各セミナー、基礎講座等で広報し、パブリシティでの案内等により、「輝・友の会」の入会促進を図った。平成 25 年度の会員数の推移は以下のとおり。

前期末	入 会	退 会	当期末(増減)
6, 229	895	435	6, 689 (460)

<輝・ニュース>

有料老人ホーム等に関する情報誌として、年4回発行。協会登録ホームの入居者募集情報のほか、有料老人ホーム等に関わる様々な特集記事や協会からのお知らせ、入居者やホーム職員からの投稿コーナーなどを掲載し、「輝・友の会」会員、協会会員、地方公共団体等へ送付。

1回あたりの発行部数は約1万5千部。

発行日	特集内容
No. 99 (平成 25 年 6 月発行)	・ 社団法人から公益社団法人へ移行 新たなスタートを切る全国有料老人ホーム協会
No. 100 (平成 25 年 9 月発行)	・ 「輝・ニュース」100号発行を記念して 全国有料老人ホーム協会の歩みを振り返る ・ 輝・ニュース100号記念座談会 「有料老人ホームを選ぶということ」
No. 101 (平成 25 年 12 月発行)	・ 「多様化が一層進む有料老人ホームの現状と質」 ー平成24年度実態調査よりー
No. 102 (平成 26 年 3 月発行)	・ 苦情を活かして 有料老人ホームの健全な発展に繋げる

(7) その他セミナー

①地域連絡協議会等主催セミナーの協会後援

地域連絡協議会や協会会員有志が実施するセミナーを後援し、会場の協会ブース等で、来場者の相談対応、「輝・友の会」への入会促進等を行った。

日時・会場	主催	プログラム
H25. 5. 22 (東京) 東京交通会館	首都圏 連絡協議会	・ シンポジウム「入居者が語る有料老人ホームの暮らし」 ・ 特別講演「自分で決める有料老人ホーム」 講師：本岡類氏（作家） ・ 個別相談会
H25. 6. 13 (神奈川) 新都市ホール	協会加盟ホーム (5社)	・ 講座 「間違っていないか？あなたの有料老人ホームの選び方」 講師：元協会理事長 三田道弘氏 ・ 入居者パネルディスカッション 「私はこうしてホームを決めました」 ・ 相談会
H25. 6. 29 (京都) 京都産業会館	京都フェスタ 実行委員会	・ 講演会「知っておきたい有料老人ホームと高齢者住宅 のメリット・デメリット」 ・ 個別相談会
H25. 11. 21 (東京) 東京交通会館	首都圏 連絡協議会	・ シンポジウム 「入居者が語る ～ホームでの自分らしい暮らし方～」 ・ ミニセミナー ・ 相談会

H26. 1. 20 (神奈川) 新都市ホール	協会加盟ホーム (4社)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「自宅で死ぬということ」 講師：篠原湘南クリニック理事長 篠原裕希氏（医師） ・ パネルディスカッション 「有料老人ホームでの医療現場と看とりについて」 ・ 相談会
H26. 3. 8 (大阪) ハービスホール	近畿連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・ シンポジウム「今、求められるシニア世代の住み替え～その時、困らない、介護の備えとは～」
H26. 3. 17 (神奈川) 藤沢 リラホール	協会加盟ホーム (4社)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基調講演「自宅で死ぬということ」 講師：篠原湘南クリニック理事長 篠原裕希氏（医師） ・ パネルディスカッション 「有料老人ホームでの医療現場と看とりについて」 ・ 相談会

②その他セミナー等への講師派遣

日付	主催者	派遣講師
H25. 05. 17	松戸市消費生活課消費生活センター	五十嵐
H25. 07. 25	横須賀市消費生活センター	松岡
H25. 10. 10	埼玉県消費者団体連絡会	松岡
H25. 10. 22	大阪府地域福祉推進財団	市原
H25. 11. 07	ATC エイジレスセンター	松岡
H25. 11. 19	松戸市消費生活センター	五十嵐
H25. 11. 27～28	広島県	五十嵐・千田・蓼沼
H25. 11. 29	相模原市	灰藤
H25. 12. 06	狭山市消費者団体連絡会	松岡
H25. 12. 10～12	宮崎県・延岡市	松岡・五十嵐
H25. 12. 17	清瀬市社会福祉協議会	松岡
H26. 01. 11	NPO 法人成年後見	灰藤
H26. 1. 15	横浜市消費生活センター	灰藤
H26. 1. 17	大田区消費者生活センター	灰藤
H26. 1. 22	川越市生活情報センター	松岡
H26. 2. 19	消費者科学センター	灰藤
H26. 3. 4	さいたま市消費生活総合センター	灰藤

5. 調査研究事業

(1) 老人保健健康増進等事業

急増、多様化する有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅について、共通する基本情報を取得することが困難になっていることから、居住・サービス等の項目で、アンケート調査による実態把握を行った。(老人保健健康増進等事業)

アンケート調査を行い、ホーム・住宅別に、職員や入居者の状況、生活支援等のサービス提供状況等について把握し、分析整理した。

有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅に関する実態調査委員会：委員 7名

開催日：第1回委員会(H25.08.06)

第2回委員会(H26.02.10)

第3回委員会(H26.03.19)

ワーキング委員会：委員 2名

開催日：第1回委員会(H25.09.03)

第2回委員会(H26.01.29)

(2) 高齢者住まいの勉強会

厚生労働省が主催する高齢者向け住まい関係者勉強会の事務局を担当した。

厚生労働省、国土交通省、首都圏自治体、消費者団体、関係団体で構成する勉強会を25年度中に9回開催した。

主な検討内容は、高齢者向け住まいの性能表示、及び重要事項説明書の改正案についての検討。

(3) 調査研究事業への参画

「高齢者向け住まいを対象とした品質の表示・評価のあり方に関する調査研究事業」へ参画した。

- ・厚生労働省補助金事業で実施された「高齢者向け住まいを対象とした品質の表示・評価のあり方に関する調査研究事業」に委員として参画した。(調査は株式会社アルテップが実施)
- ・調査では「高齢者向け住まいの健全なマーケットの育成」の観点から、有料老人ホームおよびサービス付き高齢者向け住宅について消費者目線に立った品質表示項目を策定した。

(4) 低炭素化方策普及検討委員会への参画

環境省主催の「平成25年度高齢者福祉施設等での低炭素化方策普及検討委員会」について、25年度は検討の内容についてのオブザーバーとして、高齢者施設での省エネ・生活環境向上への取り組みについての検討に参加した。

(5) REITの活用に関する実務者検討委員会への参画

国土交通省等による「ヘルスケア施設供給促進のためのREITの活用に関する実務者検討委員会」について、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅をREIT（不動産投資信託）の対象とする場合について投資家保護や入居者保護の観点から、考慮されるべき情報公開やガイドラインの在り方についての検討に参加した。

6. 広報

(1) シルバー川柳 ※詳細は附属明細書参照

協会広報の一環として、毎年シルバー川柳を公募しており、今年度は第13回目となった。

高齢者の日常生活を川柳として表現することにより、元気な高齢者像を世に示し、回を重ねる毎に消費者から好評を得ている。

本年度の応募総数は13,872作品。広報委員会の3次選考で選出した50作品について、協会登録ホーム入居者の投票を実施し（2,950票）、最終入選作20作品を決定、表彰した。

- ・シルバー川柳募集掲載媒体 新聞／専門誌／ミニコミ誌／雑誌：38、ウェブサイト：30
- ・入選作発表等掲載媒体 テレビ：3、新聞／専門誌／ミニコミ誌／雑誌：12、ウェブサイト：49

(2) 協会ホームページ

ホームページを通じて、一般消費者向け、会員事業者向けに、様々な情報提供を行った。

一般消費者向けは、「ホームの入居に関する情報をお探しの方」において、イベントの案内や、ホーム選びのチェックポイントなどを説明。また協会登録ホームの費用などの情報を一覧で公開。さらに、希望条件で協会登録ホームを検索できる登録ホーム検索ページを常時更新し、詳細情報としてホームの重要事項説明書を閲覧に供している。

会員事業者向けは、会員向け事業の案内、制度関係の改正情報、契約書モデルやガイドラインの掲出等、事業運営に役立つ様々な情報を臨機に発信した。

今年度はホームページを全面リニューアルし、公益法人モデルに従い、積極的な情報開示を行うとともに、一般消費者がアクセスしやすいページ構成に改めた。

Ⅲ. 役員会等に関する事項

1. 通常総会（H25. 6. 20）

- ①平成 24 年度事業報告の件
- ②平成 24 年度決算報告の件
- ③会費等規則改正の件

2. 理事会

本年度は計 8 回開催し、以下の内容について審議、承認を行った。

（1）第 1 回理事会（H25. 4. 18）

- ①入会等承認の件
- ②入居者生活保証制度加入審査結果承認の件
- ③入居者生活保証制度加入審査実施可否判断の件
- ④会員退会の件
- ⑤役員任期の件
- ⑥委員会の設置と委員選任の件
- ⑦諸規程改正の件
- ⑧賛同会員承認等の件

（2）第 2 回理事会（H25. 5. 16）

- ①平成 2 5 年度定時総会招集の件
- ②入会等承認の件
- ③入居者生活保証制度加入審査結果承認の件
- ④開設前会員の正会員への会員区分変更の件
- ⑤事務局職員再雇用の件
- ⑥組織変更の件、及びこれに伴う諸規程改正の件
- ⑦再雇用規程等の廃止の件
- ⑧平成 2 5 年度資金運用方針の件

（3）第 3 回理事会（H25. 6. 20）

- ①入会承認の件
- ②入居者生活保証制度加入審査結果承認の件
- ③入居者生活保証制度加入審査実施可否判断の件
- ④平成 2 5 年度定時総会議案説明の件

(4) 第4回理事会 (H25. 8. 22)

- ①入会等承認の件
- ②入居者生活保証制度加入審査結果承認の件
- ③事業承継等に伴う審査実施可否判断の件
- ④賛同会員承認の件
- ⑤平成25年度実態調査委員会委員選任の件
- ⑥平成25年度資産運用に係わる対応の件
- ⑦寄付金申入れの件
- ⑧事務局職員人事の件

(5) 第5回理事会 (H25. 10. 17)

- ①入会等承認の件
- ②入居者生活保証制度加入審査結果承認の件
- ③開設前会員の正会員への会員区分変更の件
- ④事業承継等に伴う審査実施可否判断の件
- ⑤平成25年度監査業務委託契約の件
- ⑥苦情対応基本方針策定の件
- ⑦後援承認の件
- ⑧事務局職員雇用の件
- ⑨組織変更の件
- ⑩諸規程改廃の件

(6) 第6回理事会 (H25. 12. 19)

- ①入会等承認の件
- ②入居者生活保証制度の件
- ③会費減額の件
- ④平成26年度事業計画・予算の骨子

(7) 第7回理事会 (H26. 2. 20)

- ①入会等承認の件
- ②入居者生活保証制度の件
- ③会費等規則改正の件
- ④退会会員に対する債権放棄の件
- ⑤平成26年度事業計画・予算の件
- ⑥会員退会の件
- ⑦厚生労働省への要望の件

(8) 第8回理事会 (H26.3.20)

- ①入会等承認の件
- ②入居者生活保証制度加入審査結果の件
- ③入居者生活保証制度審査実施可否判断の件
- ④開設前会員の会員区分変更の件
- ⑤平成26年度事業計画・予算の件
- ⑥高齢者向け分譲住宅の取り扱い規程の件
- ⑦諸規程改正の件
- ⑧後援承認の件

IV. 正味財産増減の状況、並びに財産の状態の推移等に関する事項

(単位：千円)

事業年度	22年3月	23年3月	24年3月	25年3月	26年3月
当期収益合計	1,128,522	1,427,860	1,479,547	1,325,835	1,807,695
当期費用合計	1,115,565	1,450,687	1,469,110	1,341,361	2,492,703
正味財産増減額	12,957	△ 22,827	10,437	△ 15,527	△ 685,008
正味財産期首残高	330,789	343,746	320,919	331,356	315,829
正味財産期末残高	343,746	320,919	331,356	315,829	△ 369,179
資産合計	5,656,094	6,219,927	6,790,105	7,143,734	7,504,849
負債合計	5,312,348	5,899,008	6,458,750	6,827,905	7,874,027
正味財産	343,746	320,919	331,356	315,829	△ 369,179

※「保証事業引当金」について、従来、将来協会が負担する正味保証債務額び保証事業にかかる費用として準備すべき額を見積計上していたが、当該引当金の重要性を鑑み、当年度から引当額の算定方法を精緻化及び高度化することとし、引当金として繰入を行った。同様に、「長期保険料負債(旧「保証料引当金」)」について、従来、将来の保険料の支払いに充当する金額を見積計上してきたが、当年度から当該計算方法を精緻化することとし、長期保険料負債の超過分について戻入を行った。この見積の変更により、従来の方法に比べて、当期一般正味財産増減額が705,505千円減少している。

V. 法人の課題

継続して、組織率向上が課題である。

また、有料老人ホームの多様化に合わせた各事業内容の見直しが必要である。

VI. 株式保有している場合の概要

該当事項なし

VII. 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

該当事項なし

Ⅷ. 平成 25 年度各種委員会 委員名簿（平成 26 年 3 月 31 日現在）

（敬称略・五十音順、○印は委員長）

入居者生活保証制度加入審査委員会	
磯部 巖	日本創造経営グループ 代表
市原 俊男	株式会社サン・ラポール南房総 代表取締役（協会副理事長）
伊藤 教史	三井住友海上火災保険株式会社 火災新種保険部保証信用保険チーム長
齊藤 紘二	入居者（協会理事）
鈴木 睦明	社会福祉法人聖隷福祉事業団 理事
○福山 宣幸	麻生メディカルサービス株式会社 代表取締役（協会理事長）

苦情処理委員会	
市原 俊男	株式会社サン・ラポール南房総 代表取締役（協会副理事長）
齊藤 紘二	入居者（協会理事）
清水 鳩子	主婦連合会 参与
竹田 智恵子	入居者（協会理事）
玉田 弘毅	明治大学名誉教授
千葉 肇	弁護士
福山 宣幸	麻生メディカルサービス株式会社 代表取締役（協会理事長）
○前川 寛	慶應義塾大学名誉教授（協会副理事長）
吉田 良子	独立行政法人国民生活センター 元理事（協会理事）

広報委員会	
池田 敬緯子	株式会社創世 取締役 聖ハートフルケア「十字の園」園長
井上 健一	西部ガスライフサポート株式会社 館長
○金澤 有知	株式会社ハーフ・センチュリー・モア 代表取締役（協会理事）
木村 人士	株式会社シルバーハイツ札幌 代表取締役（協会理事）
蓼沼 めぐみ	協会参与
樋口 朋幸	ベルジ株式会社 代表取締役（協会理事）
安元 恭子	主婦連合会 常任幹事（協会理事）
吉田 良子	独立行政法人国民生活センター 元理事（協会理事）

資産運用委員会	
新井 泉太郎	弁護士（協会理事）
市原 俊男	株式会社サン・ラポール南房総 代表取締役（協会副理事長）
亀岡 保夫	公認会計士
○福山 宣幸	麻生メディカルサービス株式会社 代表取締役（協会理事長）
松岡 昭任	協会参与

職員研修委員会	
○加藤 伸一	一般財団法人長寿会 理事長（協会理事）
加藤 伸二	有限会社加藤 有料老人ホーム サンライフ三友 副施設長
金澤 有知	株式会社ハーフ・センチュリー・モア 代表取締役（協会理事）
川口 豊	セコムフォート多摩株式会社 顧問
田島 誠一	日本社会事業大学専門職大学院 教授
森本 博子	株式会社愛仁苑 代表取締役（協会理事）

入居者生活保証制度運営委員会	
市原 俊男	株式会社サン・ラポール南房総 代表取締役（協会副理事長）
亀岡 保夫	公認会計士
熊走 知紀	株式会社アクティブライフ 代表取締役
齊藤 紘二	入居者（協会理事）
太矢 一彦	東洋大学 法学部 教授
樋口 壽樹	京阪ライフサポート株式会社 常務取締役
平野 裕之	慶応義塾大学 法科大学院 教授（協会理事）
○福山 宣幸	麻生メディカルサービス株式会社 代表取締役（協会理事長）

有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅に関する実態調査委員会	
井上 由起子	日本社会事業大学 専門職大学院 准教授
加行 仁司	株式会社アイケア 代表取締役社長
○高橋 紘士	国際医療福祉大学大学院 教授（協会理事）
竹田 智恵子	入居者（協会理事）
樋口 壽樹	京阪ライフサポート株式会社 常務取締役
福山 宣幸	麻生メディカルサービス株式会社 代表取締役（協会理事長）
矢田 尚子	日本大学 法学部 准教授

定例確認委員会	
安部 吉弘	協会参与
勝又 三千子	主婦連合会 参与
木下 幹郎	協会参与
篠塚 博道	協会参与
竹内 俊介	協会参与
蓼沼 めぐみ	協会参与
千田 忠彦	協会参与
寺澤 達夫	協会参与
○中島 弘和	協会顧問
松原 栄治郎	協会参与

以上

平成25年度
事業報告（附属明細書）

公益社団法人 全国有料老人ホーム協会

I. 当期加入法人、登録ホーム、入居者生活保証制度登録状況（名称は、入会・登録時のもの）

	加入法人名	登録ホーム名	正 会 員	開 設 前	準 会 員	制 度 加 入
4月	(株) エリシオン宮崎	住宅型有料老人ホーム フォートヒルズ霧島	○			—
	(社福) 信和会	有料老人ホーム クローバーズ・ピア八戸 「ひまわりの家」	○			○
		有料老人ホーム クローバーズ・ピア八戸 「ひまわりの家D棟」	—			○
	(既会員)	グライフ北安東	—			○
	(既会員)	ハートフル草加	—			○
	(既会員)	* ネオ・サミット茅ヶ崎ケアレジデンス	—			○
5月	(社福) 旭川荘	結びの杜ホーム	○			—
	(既会員)	ゆいま～る中沢	—			○
	(既会員)	結いホーム宝塚	—			○
	(既会員)	シルバーシティむさしの櫛館	—			○
6月	(株) 誠心	介護付有料老人ホーム アクラス五条	○			—
	(株) 孔輪閣	シルバーレジデンス孔輪閣 *	○			○
	(医社) 雄昌会	若木さくらの杜		○		○
	(既会員)	神の庭サンフォーレ	—			○
	(既会員)	サンフォーレ鎌倉	—			○
	(既会員)	ローズ・ガーデン深川	—			○
	(既会員)	カーサプラチナ宮前	—			○
8月	(医) 篠原湘南クリニック *	クローバーガーデン *	○			○
	(株) アルテディア	有料老人ホームわかみや	○			—
	NSサプライズ合同会社	グループリビング七福ハウス	○			—
	(株) かんてんジョイライフ	介護付有料老人ホーム ベルパージュ大阪上本町	○			—
		介護付有料老人ホーム ベルパージュ大阪帝塚山	—			—
		介護付有料老人ホーム ベルパージュ千里けやき通り	—			—
		介護付有料老人ホーム ベルパージュ奈良あやめ池ケアレジデンス	—			—
		介護付有料老人ホーム ベルパージュ西宮北口	—			—
		介護付有料老人ホーム ユトリーム朝霧	—			—
		介護付有料老人ホーム ユトリーム大阪北	—			—
		住宅型有料老人ホーム ナービス藤井寺恵美坂	—			—
		住宅型有料老人ホーム ベルパージュ奈良あやめ池シニアレジデンス	—			—
		サービス付き高齢者向け住宅 ナービス京都二条	—			—
	サービス付き高齢者向け住宅 ナービス守口平代	—			—	
(財) 成研会	マイステージ・桜花	○			—	

8月	(医) 同仁会 *	Dr. Orishige ビオメゾン *	○			○
	(株) 陽邦	ポート・ヒロック	○			—
	(既会員)	ウエストライフ南片江	—			○
	(既会員)	エリシオン倉敷	—			○
		エリシオン富士	—			○
		エリシオン三国	—			○
	(既会員)	センチュリーハウス玉川上水	—			—
	(既会員)	サンカルナ小倉大手町	—			—
		サンカルナ二日市	—			—
	(既会員)	ミモザ千葉おゆみ野	—			○
	(既会員)	ネクサスコート愛宕	—			○
		ネクサスコート湘南鷹取	—			○
	JR九州シニアライフサポート (株)	SJR 千早		○		—
(株) リーフ	リーフヴィラ湘南台		○		○	
9月	(既会員)	エリシオン開智 *	—			○
		エリシオン開智「地域密着型」 *	—			○
10月	(既会員)	ネオ・サミット茅ヶ崎 *	—			○
		ネオ・サミット茅ヶ崎ケアレジデンス *	—			○
		ネオ・サミット湯河原 *	—			○
	(株) アリスの夢	ベストタイムアリス	○			—
	(株) ジュピター	ハルトリーゲル松戸	○			—
	ステラリンク (株)	たんぽぽグランドハウス	○			—
	ミソノピア (株)	ミソノピア *	○			○
トータルケアライフ (株) △	コンソルテ新緑苑	—			○	
12月	(株) アイシーリビング	アイシーライフ三河安城	○			—
	(株) シーズガーデン	介護付有料老人ホーム ルフラン荻窪	○			—
	(株) ヒバリシティ	サービス付高齢者向け住宅 ルルポ泉ヶ丘	○			—
	(株) メディケアホーム青葉台	ケアホーム花笑	○			○
		ケアホーム花笑・藤の華	—			○
	(既会員)	エリシオン真美ヶ丘	—			○
	(既会員)	センチュリーハウス武蔵浦和	—			—
	(既会員)	センチュリーシティ都島	—			—
	(既会員)	サンシティみなとみらい	—			○
	(既会員)	アヴィラージュ鎌倉浄明寺	—			○
	(既会員)	伊丹ケアハートガーデン	—			○
	(株) アリスの夢 △	ベストタイムアリス △	—			○
2月	(株) アンリ	メディケア日本橋	○			—
	(株) ウェルライフ信州	セントラル・ビオス	○			—
	野原電研 (株)	シルバー館 ロイヤルステージ大垣		○		○

2月	(有) ヘルパースクール・カイ	イシス瑞穂	○			○
	(既会員)	ハーモニー六高台	—			○
	(既会員)	オーパオーマ八戸ノ里	—			○
	JR九州シニアライフサポート(株) △	SJR 別院 *	—			○
3月	(株) あみ定	シニアホーム勢多夕照苑	○			—
	(株) サカズケア	和み舎北本		○		○
	シマダリビングパートナーズ(株)	ガーデンテラス千葉中央		○		—
	(既会員)	クラーチ・ファミリア佐倉	—			○
	(既会員)	サンテヌ土浦新館(介護棟)	—			○
	(既会員)	サンシティ神戸	—			○
	(既会員)	サンセール香里園 *	—			○

※法人欄「—」は、既会員の表示。

※基金欄「—」は、基金対象外ホーム。

※法人欄「*」は、入居者生活保証制度加入審査を実施せず、理事会で承認を得たもの。

※ホーム欄「*」は、事業承継されたホーム。

※法人欄・ホーム欄「△」は、入会済みの会員・ホームが、入居者生活保証制度加入審査を実施して、承認を得たもの。

Ⅱ. 当期退会・登録抹消

	退会法人	登録抹消ホーム	制度
5月	(株) ケアリンク	—	○
	(株) メディスコーポレーション	—	○
	—	レストヴィラ綾瀬	○
6月	(社医) 愛仁会(平成25年3月31日付退会)	スローライフおかじま	○
	(株) コウキ	—	○
7月	クローバーガーデン(株)	—	○
8月	(株) レザミひだ	—	○
	(株) エリシオン松本	—	○
	(株) てらもと(平成25年3月31日付退会)	住宅型有料老人ホーム かつらぎの郷	○
	—	中銀ライフケア熱海〔竹の沢〕	—
9月	(株) 寿恵会	—	○
10月	(株) 御園座	—	○
12月	—	敬老園ロイヤルヴィラ水戸	○
2月	(株) 和	グランドホーム竹生苑	○
3月	JR九州メンテナンス(株)	—	○
	パナソニック介護サービス(株)	—	○

※登録抹消ホーム「—」は、事業承継。

※制度「—」は、入居者生活保証制度対象外。

Ⅲ. 平成25年度入居状況等調査結果

- 調査対象 平成26年3月31日時点の協会会員(316法人747ホーム)のうち、回答を得た311法人・743ホーム
- 調査方法 協会HPの「会員マイページ」へのデータ入力
- 施設種別 【A】有料老人ホーム 718件(前年度+58)
【B】サービス付き高齢者向け住宅 8件(前年度+8)
【C】分譲型ホーム 17件(前年度-1)

1. 協会会員・登録ホームの状況【A+B+C】

(1) 会員の法人格

○法人格別会員構成としては前年度と大きな違いはない。

	株式会社	社会福祉法人	医療法人	有限会社	財団法人	宗教法人	合同会社・組合
法人数(311)	239	23	22	14	7	4	2
割合	76.8%	7.4%	7.1%	4.5%	2.3%	1.3%	0.6%

(2) 会員別登録ホーム数

登録ホーム数	1	2~10	11~20	21~30	31~
会員数	217	85	6	2	1
割合	69.8%	27.3%	1.9%	0.6%	0.3%

(3) 類型別ホーム数

○全国の届出状況としては、平成18年以降の特定施設に対する総量規制等の影響により、約60%が住宅型ホームだが、協会登録ホームでは約80%が介護付である状況に変化は見られない。これは、住宅型で小規模ホームの入会が少ないことによる。

		介護付	住宅型	健康型	サ高住	(分譲型)	合計
平成22年度	ホーム数	500	98	1	0	18	617
	割合	81.0%	15.9%	0.2%		2.9%	100%
平成23年度	ホーム数	524	124	1	0	18	667
	割合	78.6%	18.6%	0.1%		2.7%	100%
平成24年度	ホーム数	541	118	1	0	18	678
	割合	79.8%	17.4%	0.1%		2.7%	100%
平成25年度	ホーム数	572	146	0	8	17	743
	割合	77.0%	19.7%	0.0%	1.1%	2.3%	100%

参考：(厚生労働省老健局調べ) H25.7.1時点届出ホームの類型別数

類型	ホーム数	割合
介護付	3,318	39.0%
住宅型	5,165	60.8%
健康型	16	0.2%

(4) 登録ホームの一般居室及び介護居室(床数)の経年推移

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
一般居室	18,100	18,332	18,540	19,091	19,866	21,327	23,296
(前年度比)	103%	101%	101%	103%	104%	107%	109%
介護居室	4,260	4,726	5,140	6,119	6,901	8,180	12,462
(前年度比)	111%	111%	109%	119%	113%	119%	152%
合計	22,360	23,058	23,680	25,210	26,767	29,507	35,758

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	(前年度対)
26,215	27,442	29,891	29,130	31,168	32,715	35,637	+2,922室
113%	105%	109%	97%	107%	105%	109%	
16,421	19,901	22,491	25,353	26,530	25,543	26,873	+1,240室
132%	121%	113%	113%	105%	96%	105%	
42,636	47,343	52,382	54,483	57,698	58,258	62,510	42,636

2. 全国の届出有料老人ホーム数と協会登録有料老人ホーム数【A】の経年推移

○平成25年7月1日現在の有料老人ホーム届出数は8,499施設（厚生労働省老健局調べ）で、協会加盟率は8.4%である。

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
全国届出数	349	400	494	662	980	1,418	2,230
協会登録数	149	160	165	184	219	230	334
割合	43%	40%	33%	28%	22%	16%	15%

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	(前年度対)
2,846	3,569	4,373	5,718	6,985	7,562	8,499	+937
418	489	548	599	659	660	718	+58
15%	14%	13%	10%	9.4%	8.7%	8.4%	-0.3%

※H23以降、厚生労働省・社会福祉施設等調査の民間委託化によって、調査票の未回収部分を把握しなくなったことで、正確な数が不明となった。このため、同年以降は同省老健局のデータ(7/1現在)を使用。

3. 入居状況

(1) 居室別入居者の状況

○平成25年7月1日現在の有料老人ホーム定員は350,022人（厚生労働省調べ）である。一方で協会会員について調査では定員数を調べていないが、仮に総定室数（一般居室と介護居室の合計）と比較すると、協会登録ホームのシェアは約18%と推定される。

○総定室数は62,510室で、前年度(54,859室)より約14%増加した。

○入居率は、一般居室が約78%、介護居室が約81%と、前年度とほぼ同じ状況。

○入居者の状況を見ると居室別の男女比率や平均年齢は、前年度の調査結果からほぼ変化がみられない。

	定室数	入居室数	入居者数			入居者平均年齢		
			総数	男	女	総平均	男	女
一般居室	35,637	27,729	31,806	9,674	22,132	83.8	83.3	84.3
割合	—	78%	—	30%	70%	—	—	—
介護居室	26,873	21,865	22,541	5,620	16,921	86.2	85.4	87.0
割合	—	81%	—	25%	75%	—	—	—
合計	62,510	49,594	54,347	15,294	39,053	84.8	84.1	85.5

※「総平均」：ホームごとの平均年齢の単純平均

(2) 入居者数の推移

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
総入居者数	21,372	21,931	22,882	24,289	25,111	26,086	29,109
前年度比	109%	103%	104%	106%	103%	104%	112%

平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
33,396	39,618	39,189	45,630	48,576	47,488	54,347
115%	119%	99%	116%	106%	98%	114%

(3) 介護保険指定特定施設等の状況

○総入居者数(54,347名)に占める特定（介護予防）施設総利用者の割合は、54%である（前年度同様）。

	事業所数	利用者数	1事業所当たり利用者数	(前年度)
特定施設	580	24,214	42	42
介護予防	520	5,140	10	10
合計	—	29,354	—	—
(参考)	(総ホーム数) 718	(総入居者数) 54,347		

	要支援1	要支援2	要支援計	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要介護計
利用者数	2,862	2,278	5,140	6,043	5,008	4,305	4,781	4,077	24,214
割合	55.7%	44.3%	100.0%	25.0%	20.7%	17.8%	19.7%	16.8%	100.0%

参考. 全利用者を介護の度合いで再集計すると、軽度者が全体の約50%を占めている。

要支援者 (要支援1,2)	軽度要介護 (要介護1,2)	中度要介護 (要介護3)	重度要介護 (要介護4,5)
5,140	11,051	4,305	8,858
17.5%	37.6%	14.7%	30.2%

IV. 平成25年度 相談件数月別内訳

	入居相談					苦情等 相談	設立 相談	他	合計
	計	相談		資料請求					
		来会	電話・文書	来会	電話・文書				
4月	100	16	65	3	16	23	10	2	135
5月	118	15	57	15	31	14	17	4	153
6月	185	18	80	43	44	31	10	2	228
7月	114	12	64	5	33	28	11	6	159
8月	101	13	57	5	26	23	3	6	133
9月	284	20	103	87	74	25	3	3	315
10月	349	16	117	144	72	24	6	3	382
11月	154	15	76	29	34	22	6	2	184
12月	113	5	69	8	31	19	2	2	136
1月	170	23	90	17	40	21	3	6	200
2月	147	17	84	14	32	21	2	7	177
3月	339	20	101	158	60	4	8	9	360
合計	2,174	190	963	528	493	255	81	52	2,562

V. 平成25年度苦情処理委員会で審議された苦情内容別件数(重複選択)

種別		件数	構成比 (%)
契約 解約	①入居時費用の返還	11	3.2
	②遅延	3	0.9
	③短期解約	4	1.2
	④契約解除	17	4.9
	⑤変更	11	3.2
	⑥その他契約	23	6.6
価格 料金	①原状回復	10	2.9
	②その他費用	20	5.8
接客対応		52	15.0
役務 品質	①介護	40	11.6
	②食事	13	3.8

種別		件数	構成比 (%)
役務品質	③生活支援	3	0.9
	④医療支援	15	4.3
	⑤その他運営	49	14.2
施設・設備		18	5.2
販売方法		6	1.7
表示・広告		6	1.7
法規・基準		1	0.3
安全・衛生		2	0.6
その他		42	12.1
計		346	100.0

VI. 「第13回シルバー川柳」入選作品

お医者様パソコン見ずにオレを診て	(男性/秋田県/74歳/農業)
寝て練った良い句だったが朝忘れ	(男性/埼玉県/73歳/無職)
「先寝るぞ」「安らかにね」と返す妻	(女性/埼玉県/71歳/主婦)
欲しかった自由と時間持て余す	(女性/岩手県/77歳/無職)
お迎えは何時でも良いが今日は嫌	(女性/神奈川県/84歳/無職)
お迎へと言うなよケアの送迎車	(男性/福岡県/84歳/無職)
金貯めて使う頃には寝たっきり	(男性/福島県/69歳/無職)
欲しい物今じゃ優しさだけになり	(女性/大分県/74歳/主婦)
骨が減り知人も減るが口減らず	(男性/広島県/53歳/公務員)
症状を言えば言う程薬増え	(女性/奈良県/85歳/無職)
孫が聞く膝が笑うとどんな声?	(女性/埼玉県/59歳/無職)
本性が出ると言うからボケられぬ	(男性/神奈川県/53歳/会社員)
メイドカフェ?冥土もカフェがあるんかえ?	(女性/三重県/36歳/パート)
ひ孫の名読めない書けない聞きとれない	(男性/京都府/48歳/会社員)
耳遠くオレオレ詐欺も困り果て	(男性/兵庫県/60歳/公務員)
子は巣立ち夫は旅立ち今青春	(男性/栃木県/61歳/無職)
検査あと妻のやさしさ気にかかり	(男性/岐阜県/63歳/自営業)
白内障術後びっくりシミとシワ	(男性/大阪府/71歳/無職)
期限切れ犬にやらずにオレに出す	(男性/東京都/74歳/無職)
暑いのでリモコン入れるとテレビつく	(女性/宮城県/75歳/無職)

●応募作品数内訳

①都道府県別

順位	都道府県	合計	順位	都道府県	合計	順位	都道府県	合計
1	東京	1,113	17	京都	255	33	高知	126
2	大阪	1,045	18	奈良	251	34	秋田	118
3	兵庫	990	19	茨城	247	35	長崎	115
4	神奈川	930	20	岐阜	246	36	香川	113
5	福岡	797	21	大分	223	37	長野	97
6	埼玉	756	22	山口	216	38	滋賀	95
7	千葉	725	23	岩手	214	39	群馬	76
8	熊本	505	24	山梨	187	40	和歌山	71
9	愛知	457	25	三重	182	41	宮崎	70
10	岡山	453	26	佐賀	163	42	石川	64
11	北海道	341	27	山形	150	43	島根	60
12	静岡	330	28	福井	148	44	鹿児島	54
13	栃木	329	29	宮城	136	45	青森	47
14	広島	325	30	徳島	135	46	沖縄	26
15	新潟	302	31	愛媛	133	47	富山	9
16	福島	289	32	鳥取	127	48	アメリカ	6

②性別

	応募数	平均年齢	最年長	最年少
男性	6,945	68.9	97	9
女性	6,871	65.9	101	7
不明	56	—	—	—
総数	13,872	67.4	101	7